



西山 富三郎 議員

# 管理職の決断力をどう高めるか

町長

## ブレない軸を持つことだ



執行部と議会のあり方を示す地方自治法

〔西山〕 責任回避型の管理職はいないか。

〔町長〕 新しくチャレンジするよう、情報発信している。

〔西山〕 リスク恐怖型の管理職はいないか。

〔町長〕 ブレない軸を持つことで対処できる。

〔西山〕 組織依存型の管理職はいないか。

〔町長〕 他部署と連携することで意思疎通をはかり、住民ニーズに即応できるよう養成している。

〔西山〕 働き方改革の管理職認識は。

〔町長〕 仕事の成果・質を維持しながら、労働時間を効果的・効率的に使うのが本当の意味である。

〔西山〕 仕事で大事な4つの「ワーク」とは。

〔町長〕 チームワーク・ハートワーク・ネットワーク・フットワークであり、これらは現場に学ぶことそのものである。

これらを重視しながら仕事を進めることにより、事業の質は高まり、よりよい町づくりにつながる。

# 認知症にやさしい地域づくりは

町長

## 正しい知識を普及啓発する

〔西山〕 怖い認知症から笑顔の認知症への取り組みは。

〔町長〕 正しい知識、理解、早めの気づき、予防などの取り組みにより安心して暮らし続けられるよう普及啓発するとともに、認知症予防を行っている。

〔西山〕 言葉を大切に。

〔町長〕 徘徊という言い方を「外出行為」「ひとり散歩」「行方不明の恐れがある」などと言い換える動きが見られている。

問題行動は現在では周辺症状もしくは行動心理症状という言い方に変わってきている。周辺症状、中核症状は医学用語として使われている。

認知とは本来「ある

事柄を認める」「知覚や記憶・推論など知的な活動」という意味で、認知症のことをさす言葉ではない。

メッセージが植え付けられてきたことから病気を正しく理解し、当事者の話を聞く機会を持つことも大切である。



ひとりのかけがえのない人間として接する